広報水巻

発行所
福岡県遠賀郡水巻町役場
発行人　大貝五十三
編集人　久保田勝馬
印刷所
冷牟田印刷合資会社

中間町通学区域児童の委託問題!!

やっと解決しました

数年来懸案になつていた中間町通学区域児童の委託の問題が、中間町議会有志の御骨折でやつと解決したので解決までの経過を発表します。この問題は日炭高松二坑の事業場が中間町区域に発展していつた時から初まり、戦前からの問題である。その頃即ち今から十数年前この委託の問題が持ち上つたのであるが、その頃はいろいろの形で炭砿が町の学校経営に協力・応援してくれていたし、児童の数も少くなかつたので炭坑からの要請で無償で児童をあづかつていた。

終戦後地方自治の確立の為、地方税法が改正され鉱産税・固定資産税・住民税・住民税法人割等が創設され、炭坑の税負担が非常に多くなつた為、従来やつて来た学校経営のための寄附その他物質的援助は一切しない。税として出すものは出す、貰うものは貰うと会社の方針が変り、町もこれを了承し今日に及んでいます。この様に客観情勢がかわつて来たので、戦後再び委託料の問題が持ち上つたのである。

然し中間町はこれら客観情勢が変つてもやはり従来よりの事情をたてにしなか〳〵水巻町の要請に応じてくれなかつた。地方税法の改正は中間町に日炭高松を背景とする税収入をぐんとふやし住民税・住民税法人割・鉱産税・固定資産税共に中間区域の分は中間町の収入になり、かて、加えて水巻町は給食費の補助として月一人四十円の補助をしている。この補助も中間町の児童であるからとて差別は出来ない。水巻町民の負担に於て補助をしている。この様な理由で当然委託費を出すべきだと再三要請したが応じない。それでやむを得ず昭和廿四年二月と昭和廿五年二月に中間町区域の父兄に集合を願い、水巻町としては水巻町の学校に来て貰つても良いが、中間町が「中間町の児童は当然中間町で教育しなければならないし、中間町の学校で充分収容出来るから帰して貰い度い」と云つているから帰つて下さいとお願いしたが、その都度是非何とか水巻町の学校に入れてくれとの強い地元民の陳情があり、児童を委託料問題の渦中に巻き込み度くないとの親心から委託料の問題と切りはなし、水巻町の学校に通学させていた。そして遂にしびれを切らし昭和廿六年二月廿日若松市と協定している尊出基準で中間町に交書で正式に委託料の請求をし再三交渉したが、中間町は「受入が可能であり水巻町が勝手に入学させていたのだから」と云う理由で仲々解決しなかつた。そこで水巻町当局・町議会教育常任委員会・町教育委員会は最後の決意をかため、委託料を支払わない限り中間町区域の童児生徒は中間町に帰つて貰うことを昨年十二月、地元父兄代表と中間町教育委員会に通告した。

その場合も地元民の意向がよくわかつているから、三月までに解決しないと困るのは地元民だけだからと、中間町教育委員会には再三申入れをしたがなか〳〵立ち上るけはいが見えず、遂に中間町議会有志が解決にのり出したのである水巻町も中間町議会有志の誠意をくみ、ここに円満に解決することが出来たことは誠によろこばしい

委託料総額

三・〇〇五・九〇五円
廿六年度分（廿四年決算）
小　三四〇人　中　一一二人
四一七・四七一円七三
廿七年度分（廿五年決算）
小　四一六人　中　一五一人
七二〇・一五八円二三
廿八年度分（廿六年決算）
小　四三〇人　中　一四九人
一・八六八・二七四円七二

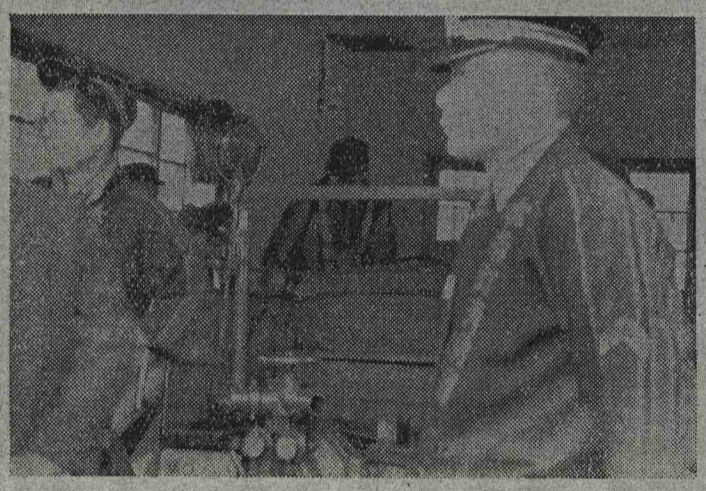
改編初の防火週間

一日―七日

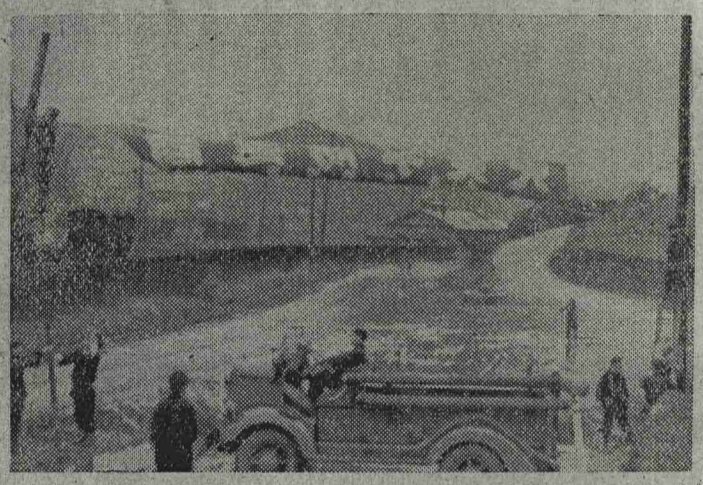
前号掲載の防火週間も去る三月一日より七日迄、各プランにもとづき先づ横断幕の懸垂・立看板の設置・街頭行進等は勿論、昼夜を分たず頃末東洋観にて幕間利用の放送など啓蒙宣伝に努め、又団長以下各分団を巡回、機械器具・備品の点検や調査・水利・消火栓の調査や手入れ、並びに各戸火の元調べといつた様に宣伝啓蒙に又訓練や試験といつた意義深い力強い再編成後初の防火週間をつゝがなく終了したが、何んと云つても火は恐いものです。

こういつた当面関係者の骨折りもかくあるものと思いをはせ、お互いが警火心を呼び覚まして本週間の精進を活かす可く協力しようではありませんか。そして無火災で明朗な水巻町を建設しましよう。

（写真は横断まくけん垂作業と機械器具の点検）



機械器具の点検



横断幕垂懸作業

園芸先進地を視察して

去る六日郡内園芸熱心家並に地方事務所各役場関係者四十余名を乗せたバスが陽春の筑紫路を一路山門郡瀬高町えと走つた。当地方の耕地は畑と水田が相半し一戸当の経営面積は約八反歩程度であるので、農家は祖先から伝つたありきたりの農法を守つていたのでは資本主義化した近代経済機構の下、生計の維持に困難を感する様になつて来た。その為農家は他に何か収入の道を考えねばならず、余剰労力に依つて賃金収入を得ようと思つても北九州地方の如く手近に農村の余剰労力を吸収する大規模な工場炭砿等もないのである。そこで速く出稼に出るより自分達の土地からより多くの収入を得ようと考え、園芸の高度化に着目したのである。これが蔬菜園芸の進歩した所以で、当地方に発達したのは季節にさきがけて出荷し普通栽培の数倍の利益を挙げる促成栽培である。促成栽培用の温室は従来和紙に油を塗つた障子紙のものであつたが、ビニールが出現するやいち早く之を採用し本年は大部分がビニールの温室所謂ビニールハウスとなつている。ビニールであれば紙と違つて桿に貼る必要はなく、骨組を作つてその上に広いビニールを拡げればよいので、規模も大きなものとなり、百坪に近い温室となつている。

温源も自家考案のドラム罐を利用したボイラーに依つて室内に蒸気を通し、電燈まで設けて夜も管理の為に温室に寝泊りしている。現在昨年十一月に播種し数回の移植を経たトマトが三尺位に成長して花を開き、中には既に小さな実を結んでいるものもあつた。之を更に露地に移し収穫の開始は五月中旬の予定との事で、目下整地風除け作り等最終移植地の準備中であつた。

作業中の人に尋ねた所初年度の所要経費は反当五〇万円にも達し、売上げは六〇万円程度との事であつたが、ビニールの耐用年限は約三年、ボイラーその他の設備の耐用年限はそれ以上と思はれるので二年目以後は相当の利益が挙る訳である。しかし「言うは易く行うは難し」の諺の如く普通栽培と異り、十一月播種以来収穫を得る迄半歳余に渉つて此の栽培に注ぐ心身の労苦は我々の想像以上のものがあると思はれる。

山門郡地方と本郡とは土地・気候等栽培条件が多少異なるので、この栽培法をそのまゝ採り入れる事は当を得ないが、その創意と努力には敬意を表すべく、多々学ぶべき点があると思われた。

（経済課）

お米の消費者価格がかわりました

昨年産米の生産者価格に就ては遂一が変りました。きに引上げを行い、精米の消費者価格は暫定的に据置きとされていましたが、昨年の十一月二十六日に開かれた米価審議会に政府案が諮問されたうえ、十一月三十一日に農林省告示第六八三号、六八四号及び六八五号で今年の一月一日から次のように精米の消費者価格に一〇kgにつき八〇円を加算した値となります。なお詳細は次の通りです

小売販売業者の販売価格の統制額

種目	内地精米（一〇kgにつき） 改定	今まで
普通外米（一〇kgにつき）	六八〇円	六一〇円
販売価格の統制額（正味一〇キログ	五八〇円	

（経済課）

町立として縣下唯一を誇る
水巻高校の卒業式

3月5日

県立遠賀高校水巻分校より昨年四月一日独立した。福岡県で唯一つの町立高校吾が水巻高校第一回の卒業式は去る三月五日同校講堂で教育庁遠賀出張所長・町長・議長初め日炭代表・PTA幹部・名高校代表者は遠く大牟田市からも来場され、多数来賓者臨席のもとに又数片の視電もあり盛大な歴史の

全員強く感激を新たにし、[illegible]君は卒業生を代表して感謝と決意にあふれる答詞を涙と共に朗読し午後一時盛大を極めた卒業式は修了した。卒業生を表示しますと、

【採鉱科】井上元次郎・西山忠雄・西村政夫・豊島重美・梅林真之・矢野敏・矢筈勝美・松尾朝親・藤崎博章・江藤範之・秋山和昭・菊地秀正・宮田清欣・森山康範・初井俊文【普通科】井上甫久・力丸昌之・堀山修・永野義次郎・永沼満利・小手川良徳・寺岡健次・赤丸清一・三浦隆男・以上二四名

因に受賞者は

町長賞・岡本賞及び学術賞
採鉱科　西村政夫君
町長賞・岡本賞及び学術賞
普通科　赤丸清一君
産業教育振興会賞・学術賞
採鉱科　菊地秀正君
日炭砿業所長賞・学術賞・精勤賞（四ケ年）
採鉱科　西山忠雄君
日炭砿業所長賞・学術賞
普通科　堀山修君
精勤賞（四ケ年）皆勤賞（本学年）
採鉱科　矢筈勝美君
精勤賞（四ケ年）
採鉱科　松尾朝親君
皆勤賞（本学年）
採鉱科　藤崎博章君
皆勤賞（本学年）
採鉱科　豊島重美君
皆勤賞（本学年）
採鉱科　宮田清秋君

卒業生二十四名の方に対して将来の意向や就職又進学の事に関して尋ねてみると、先づ社会や上級学校の方で従来より古く行われている学校の派閥を超越してすなおに迎えてほしいと云う考えは全員同じ気持で次ぎに採鉱科の方々は何もかも忘れて技術一本で進むと覚悟を示していた「鬼に角坑内一の男になる積りと、大体卒業生の中七名は上級学校え進まれるとのことで、九州大学え二名、北九工大え二名が、昨年の卒業生（町立高校の前身遠賀高校分校）の進学組みも全部合格したのだから、本年も負けるものかと各人の気焔振りには全くたのもしく思われた。又現在社会のあり方については大体民主主義の下に進んで居ることゝ思うが何分当校としては大部分勤労者の子弟の集合だから、自然スト其の他の面で労資の闘争を身近に感ぜさせられるので、学校以外の入材智識よりいろ〳〵おかしく考えさせられることが多いが、先づ祝詞其の他の正しい指示にあるとることなく、第一回卒業生として強く正しく進むといつている。

昭和

一、学校の沿革

昭和二十三年九月以来、遠賀高等学校水創設せられ本年三月第二回卒業生を送る予定で、目下校舎は仮校舎で授業を継続して居ますが、昨年四月一日付で町立水巻高等学校として独立認可になりまして新校舎も敷地は既に水巻町鯉口に決定しまして本年新学期より新校舎に移転の予定です。

二、募集人員

1　普通科　第一学年（夜）五〇名
2　採礦科　第一学年（昼）五〇名
3　以上二、三、四学年　若干名
※特に夜間部は向学心に富める勤労青年の入学を切望する。

三、各科の特質

普通科…一般教養を高める基礎的学科に重点を置く、
採礦科…高等学校としての教育を身につけると同時に採礦技術を修得し卒業後に直に実社会に進出出来る。

四、修業年限…四ケ年（定時制）

五、受験資格

1　新制中学卒業者、
2　右に準ずる者（旧制高等小学校卒業者等）

六、試験日時、場所　三月二十九日（日曜日）

午前拾時（但しアチーブテスト受験者は余く）

七、試験科目　国語、社会、数学、理科

八、出願手続

入学願書及び報告書（出身学校長作製のもの）
受験料一五〇円を添えて受付期間内に届出ること。

九、願書受付及受験場所　於、水巻高等学校

（若松市営バス三松園にて下車、日炭高松四礦事務所裏）

十、受付期間

自、昭和廿八年二月廿五日午前十時
至、昭和廿八年三月廿五日午前七時（締切）

十一、合格者発表

三月卅一日午前九時　於水巻高等学校

十二、修学費

入学金　一〇〇円　校納金　約五〇〇円（月額）
他に後援会費を要する

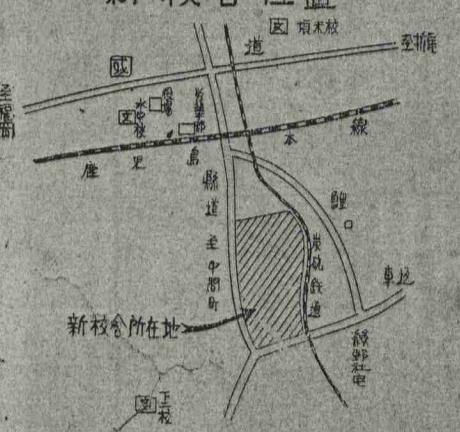
十三、卒業資格

全日制高等学校と同様

十四、注意事項

受験料其の他の納金は理由を問はず一切返済しない

新校舎位置



子供の教育はまづ「言葉」から

梅の香りと桃の蕾みにつゝまれた三月二日、水巻町枡小学校では「人格形成に培う国語学習指導の実践的研究」を主題に国語教育の研究協議会が催おされたが、この日早朝より郡内外各校の先生凡そ百数十名が参集して、県委嘱実験学校教育三ケ年、研究PTAの実践一ケ年の発展として教育経営されている実際を熱心に参観した。午前九時のサイレンがなりひゞくと一斉に国語の各分野に亘つて学習活動が始められたが、当日の主な行事は次のようでありました。

第一時　学習・（九時〇〇分　九時五〇分）
一年―六年　一五学級

第二時　学習・（一〇時〇〇分　一〇時五〇分）
一年―六年　一二学級

発表・（一一時〇〇分　一一時五〇分）
「人格形成の国語教育」　校長　久野　七生
「よく聞きよく話せる子供の育成」　河野スサノ

昼食

レクリエーション（学習発表）
発表
「正しい読みの指導」　教頭　井口　亘
「私の学級における国語学習の一端」　米末千恵子
「児童の書く力をどのように」　石田　尽
「学校における作文指導の営み」　縄手　晟

今までの教育研究を「ワークショップ」（研究集会）で毎週一回グループ研究を続け稀な研究の新しいあり方が示唆されていた。なお福岡学芸大学附属久留米小学校長徳永全先生の「ハーモニカ」独奏並びに「心理的にみた人格形成」の講話は会員一同を心から動かし深い感銘を与え、教育の新しい光が「ぶぜん坊」の樹々の間からもれて来るような感じさえして、実に意義深い催おしの一日を終りました。

自転車の鑑札一齊取替に就て

自転車の鑑札を左記の要領で一斉に取替え、納税義務者を洩れなく把握しようとしています、今迄のカンサツは一昨年取替えたものでありますが、其の後他市町村が之とほゞ同形のものを使用した為、見分が付にくゝ、又其の後相当期間を過ぎている為、封印の切れた古カンサツを使用するなど、脱税又は違法行為も相当認められるので、今度税務課の手持カンサツが切れたのを機会に今までと全く異つたものを（自転車の後方に附ける）つけて、徴税事務の完璧を期しようとしていますので御協力下さい。尚税額は年間、二百円であり、従来までの鑑札をつけている人は取替については無料であります。

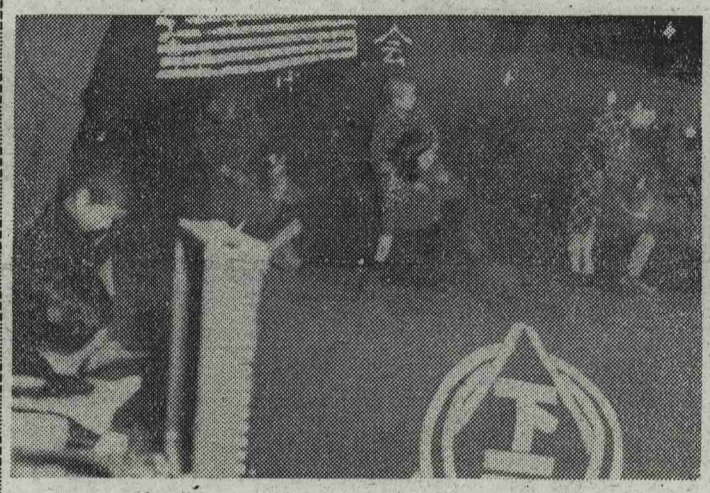
一、期日　三月二十一日及び二十二日
一、場所　第一日　役場　吉田今井理髪店前　樋口消防格納庫前
第二日　吉田今井理髪店前　役場　新生街バス停留所前
必携品　自転車、印鑑、配給通帳　以上
（税務課）

無銭法案に就いて

正確に云えば「小額通貨整理法」この法案が今国会を通過すれば「銭」なるものは、もはや通用せず、この古なじみにもおさらば、さてインフレには勝てぬ斜陽族「ゼニコ」氏の「思い出のアルバム」をひもとくなら、一伝説に中国は周の大公（西暦紀元前千二百年頃）が初めて農具にかたどり貨幣を鋳た、銭とは鋤（すき）のことだそうな、小遣せびりに指で丸をつくつても周時代は通じない、日本では元明天皇の和銅元年（七〇八年）の和銅開宝がそもそも初まり、以下万年通宝、乾元天皇などを皇朝十二銭という。平安朝中期から桃山時代までは鋳銭のことなく、天正十五年（一五八七年）天正通宝がつくられて、以後徳川時代には盛んに、新貨を乱発、ぴた銭、ヅク銭などと軽蔑されたとは云え、「うららかさ、しきりに銭が欲しくなり」立派な通貨であつた。ともかく法案成立の暁は銭以下の貨幣は政府で回収、だがしようことなしにタンスの奥に放り込んだ五十銭札ならいざしらず、ズッシリと重い二銭銅貨など出す手はありません、待ちなさい。百年も経ては値が出る、しまって置く人の御参考に申しますが、一銭二銭と彫ってある一見表の様に見える方が実は裏で、龍の浮彫りの方が表です。明治八年の発令に「銭」と。

頃末下二両校の学芸会催さる

三月初頃から各小学校は毎年別れの、PTA総会（授業参観）や学芸会が催されるが、頃末校は廿二日（土）、下二校は四日（水）と催された。児童等も本年度中手を取つてもらつた教師に対しては感謝をこめて、みのりのしるしを各父母兄姉にみてもらい、次いで総会があり終つて学芸会をみてもらつたが、全く進み行く児童の学、芸共に全父兄をかんたんさせた。なほ枡小学校は十四日（生徒相互で批評参観）十五日（来賓、父兄にみてもらう）又水巻中学校は十四日文化祭としてこの種発表の催しがあることになつている。



さんな屋　かさ　踊舞

農家メモ

1　養鶏に就てお尋ねします。

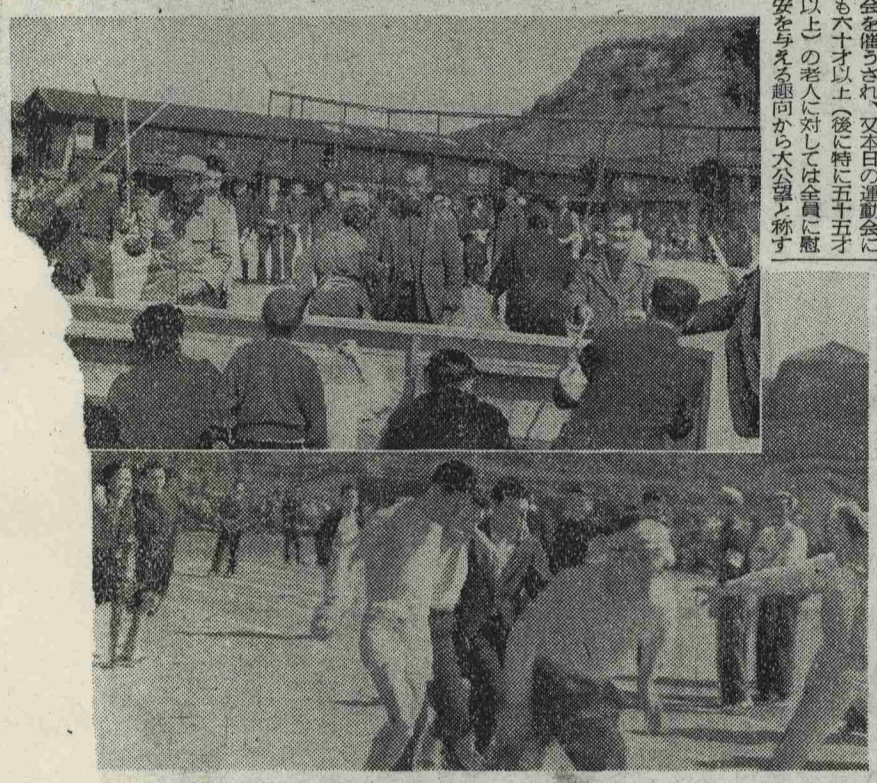
問
イ、どんな場所が適当でしょうか？
ロ、多産鶏の品種及び最盛期は？
ハ、一代雑種に就ては？
ニ、一般に調味料に使う「ダシイリコ」の残りはどの位、栄養価があるでしょうか

答
イ、南向き又は東南向き（やむをなければ東向き）の場所で土地高燥で周囲に樹木があつて、冬は暖く夏は涼しくそしてなる可く今迄ニワトリを飼つた事のない土地が最も理想的ですが、此のような条件を完全に満すことは非常に困難でありますので家庭の副業養鶏として考えて見ますと通風のよい湿潤でない日当りの好い場所を選ぶことです。西北及び北には建物、樹木が接近していても通風を害しなければ差支えありません。
ロ、白色レグホーン種が最も普通です。次いで横斑プリマスロック種やロードアイランドレッド種等も多産鶏に属すると考えてよいでしょう。しかしここに注意しなければならないのは、同じ白色レグホーン種と云つても、その血統系統によつて、多産鶏と云い難いものもありますし、純粋種として疑はしいものも多々有ります。導入される場合には特に御注意願います。
産卵の最盛期は大体二月から五月までですが、真の多産鶏は年中殆んど変りなく産むのが特徴です。
ハ、一代雑種は丈夫で発育も良く一般に多産のものが多いのですが良心的に作つた真の一代雑種はなかなか入手し難く、ともすると二代、三代、或はいゝ加減な雑種に近いものをつかませられる恐れがあるのが欠点です。現在賞用されている代表的な一代雑種はゴールデンネック（ロードアイランドレッド×横斑プリマスロック）ロックホーン（白レグ×メロードアイランドレッド）等です。
ニ、煮干を「ダシ」に使つた粕は煮た程度と此れをとり出して再び乾燥したかしないかで違いますが大体家庭で再び乾燥したものとして、次の通りです。水分一二%、粗蛋白質四五%、粗脂肪五%位のものと考えてよいでしょう。従つてニワトリの給与は一日一羽四―五匁程度が適当であると思います

水巻町農業改良普及員　近藤　定信

陽春のトップを切つて運動会

梅の木分館では去る八日陽春のトップを切つて区内家族全員娯楽として春季運動会を催され多彩なプログラムを展開し又賞品もぐつとはり込んで授与されましたが、一家総出の大はしやぎで、尚老人方に対しては去る二月二十五日敬老会を催うされ、又本日の運動会にも六十才以上（後に特に五十五才以上）の老人に対しては全員に慰安を与える趣向から大公望と称する宝つり競技を組込み、行届いたねぎらい振りだった。何んと云つても日炭関係としても最も大世帯のことだし全く盛大を極め、全員顔の形を変へ乍ら終日たのしまれた。中にも親闘児のはた取り競争など出場人員は三倍にも殖え、幼児のことだし整理つかず、やれ「菓子がたらん」又「旗はないか」と進行係初め世話方連中こぼすこと、こぼすこと。本部の席から「この競技は子供を慰めるやら、泣かせるやらさつぱり分らん、何んとか今後考えんといかんぱい」の悔言多々。かくして午後四時下り時局にそぐわせた協力一致の競技を最後になごやかなうちにも勝敗の跡話しに力こぶを入れ乍らぐつたりつかれた足を吾が家え運んだ。



「日本一の米作を」―目標で頑張りましよう

米作日本一入選者が表彰されました。昨年県で実施された米作日本一コンクールの入選者十二名は、去る二十一日表彰を受けられたので紹介します。

収量一位三潴郡江上村渋田恵吉氏四・七七七石（反当）で九州ブロック一位、収量二位八女郡福島町池田清蔵四・七七五石、同一位八女郡福島町安達重登四・三六七石同一位京都郡犀川町井中定利四・二七二石同三位久留米市常巻伝四・一四二石、同三位糸島郡可也村井島益良四・〇七五石、同三位糸島郡加岡村田中甚太郎三・八八六石と各々表彰を受けられました

尚技術賞を九州ブロック第一位の渋田恵吉氏、準技術賞を井島益良氏初め早良郡田隈何三角護氏、築上郡友枝村常慶毅氏、八女郡水田村下川良美氏の諸氏が受賞されましたので紹介します。

【公民館巡回映畫のお知らせ】

◎四月中…各分館予定
◇山河を越えて
◇愛犬物語
◇稲田家の結婚
◇拾円のカロ

改

児童作品

下二校

もうすぐ二年生

一年二組　森田　伸一

ぼくは、もうすぐ二年生だ、うれしい二年生だ。みんな、みんな、手をつないで、二年生になろうよ二年生にはどんなかんじがあるだろうな、せんせいは、だれだろう、ぼく一しようけんめいがんばろう。

おかあさん

二年一組　伊藤宗一郎

ぼくたちは、みんなおかあさんのおちちがでないので、ミルクで大きくなりました。けれど、やせた子どもはいません。ぼくが一ぱんほそいくらいで、おとうとなんかこぶたの様に、こえています。でも、ぼくはやせても、すもうは強いのです。こんなにしてくださったのは、ぼくのおかあさんです。ぼくがようふくを、よくやぶるので、しゆうぜんもしてくださいます。さかなを、とりにいつて、とろだらけでかえつても、こんなによごれないで、とつていらつしやい、と、はじめにしかつて、それから、せんたくをしてくださいます。ぼくはおかあさんがこわいけれど、すきです。

木炭しらべ

三年四組　横内　繁雄

ぼくたちのはんは、土曜日さゝき店にいくと、おるすなので、しよんぼりして、「あしたせいざいしよの所にあつまつていこう。」「ね、トラックに、汽車」「ねだんさよなら、さよなら」「あつ待つて十時までにあつまつときないよ。」と、わかれました。

つぎの日

「さあ遊びにいつてこよう。」と、いつてさへき店にいきました「ごめん下さい。学校の勉強でしらべるんですが」、「どんなことですか」木炭はどんな木からつくりますか。」「そうね、かた木にそれから、ゆすに、なら」「そしたらなんで運びますか」、「そうね、トラックに、汽車」「ねだんは」「二百五十円、二百八十円、三百円、三百五十円」「どこから来ますか。」「かご島、宮ざき、大分」「そんだけ」「はい」「ありがとうございました」おひるのサイレンが鳴つている、あしたのべんきよう待ちどおしいな。

足あと

四年一組　宮窪不二男

隣のいちじくの枝が僕の家の庭に、頭を出してきた。

白い雲が青空にういて庭一ぱいに暖かい日がさしている。

僕は庭にござをひいて作品箱を持ち出した。

テスト、国語、算数、理科、社会、音楽、作文、詩、一枚一枚つづつて足あとを作ろう。

この前の柿の詩が一枚ふうつと風に飛んだ。

僕は手に取つて「柿の詩」を読んだ、その時の事が思い出されておかしくなつた、百点が出て来た時ていねいにつゞつた。

僕は思わずしんきゆうをした。

目の前にいちじくの野が太陽に照らされてキラキラ光つている。

ああもう春だ、僕も五年生になるのだ、五年生になつたらもつと力強い足あとを続けて行こう、長い長い道のように。

母の姿

六年三組　藤井　紀子

母と弟と私と三人で、おふろにはいつた。弟と私が先にはいつた。母は、そとで髪を洗つていた。私は母をじつと見ていた、弟も見ていた。私も弟もだまつて見ていた。母が、髪を洗つている姿が、白いむくむくとしたゆげの中に、かすかに、まぼろしのように浮んでいた。